

＜対策のポイント＞
花粉症対策苗木への植替の支援、花粉飛散防止剤の実用化に向けた林地実証試験、スギ・ヒノキの雄花着花状況調査、スギ雄花着花特性の高精度検査手法の開発を進めるとともに、これらの成果の普及啓発等を一体的に実施し、総合的に花粉発生源対策を進めます。

＜政策目標＞
スギ苗木の年間生産量に占める花粉症対策に資する苗木の割合の増加（約3割〔平成28年度〕 → 約7割〔平成44年度まで〕）

＜事業の内容＞	＜事業イメージ＞
1. 総合的な花粉発生源対策の強化及び普及 10（10）百万円 ○ 花粉発生源対策に係る調査及び技術開発の成果の普及、特色ある植替促進等の取組の情報収集及び発信を支援します。 2. 花粉症対策苗木への転換の促進 53（60）百万円 ① 花粉症対策苗木への植替促進 花粉発生源となっているスギ林等の植替やコンテナ苗植栽結果の検証等を促進するため、加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。 ② 花粉症対策品種の開発の加速化 花粉症対策品種の開発を加速化するため、スギ雄花着花特性を短期間・高精度で検査する手法の開発を支援します。 3. スギ花粉飛散防止剤の実用化試験 29（29）百万円 ○ 花粉飛散防止剤の実用化を図るため、空中散布の基本技術の確立、低コスト・高品質な大量培養技術の開発等を支援します。 4. スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進 15（－）百万円 ○ スギ雄花着花状況等の調査、ヒノキ雄花の観測精度向上のための調査手法の開発を支援します。 ＜事業の流れ＞ 国 定額 民間団体等	花粉症対策苗木への転換の促進 - 加工業者・素材生産業者等が行う森林所有者への働きかけ、対策苗木への植替 - 補助対象にヒノキを追加  伐って花粉症対策苗木に植え替えましょう。 ・スギ雄花着花特性を短期間に高精度で検査する手法の開発 取組事例やコンテナ苗植栽状況の報告 スギ花粉飛散防止剤の実用化試験 - スギ花粉飛散防止剤の空中散布技術の開発 - 低コスト・高品質な大量培養技術の開発  ＜花粉飛散防止剤により枯死した雄花＞ 開発状況の共有 スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進 - スギ雄花着花状況等の調査 - ヒノキ雄花観測技術の開発、試行的な着花状況調査の実施 - ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発  ＜雄花着花量調査＞ 雄花着花量情報の共有 総合的な花粉発生源対策の強化及び普及 - 上記の取組状況や調査成果、特色ある地域の植替促進取組等の情報収集 - 森林所有者、自治体、研究機関、メーカー、医療機関、国民への情報提供・発信